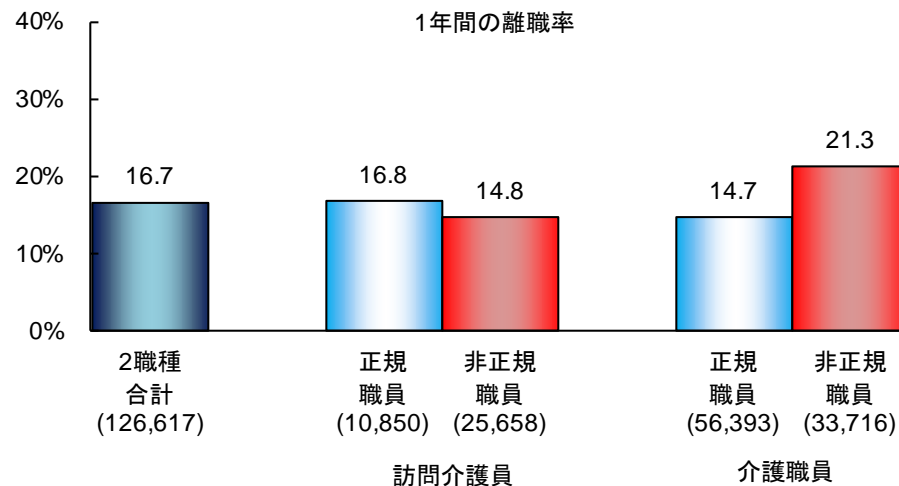
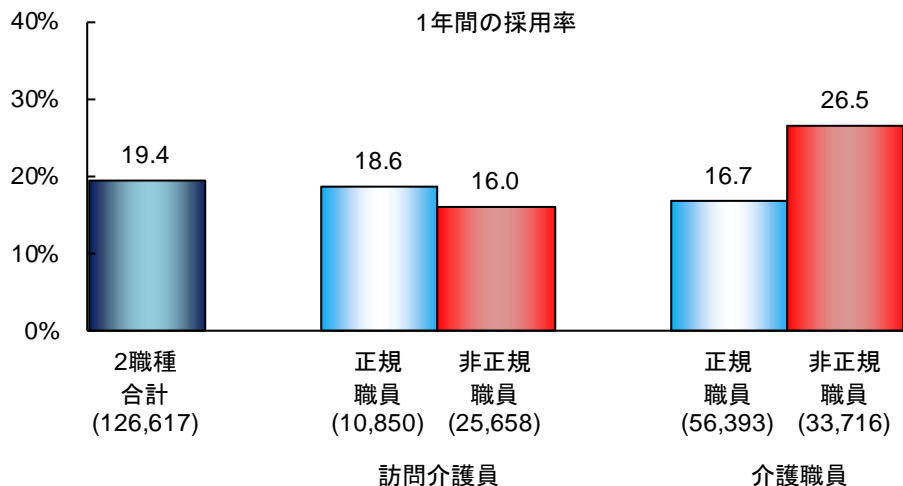


Ⅱ 雇用管理の状況

1 訪問介護員、介護職員の採用・離職の状況(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

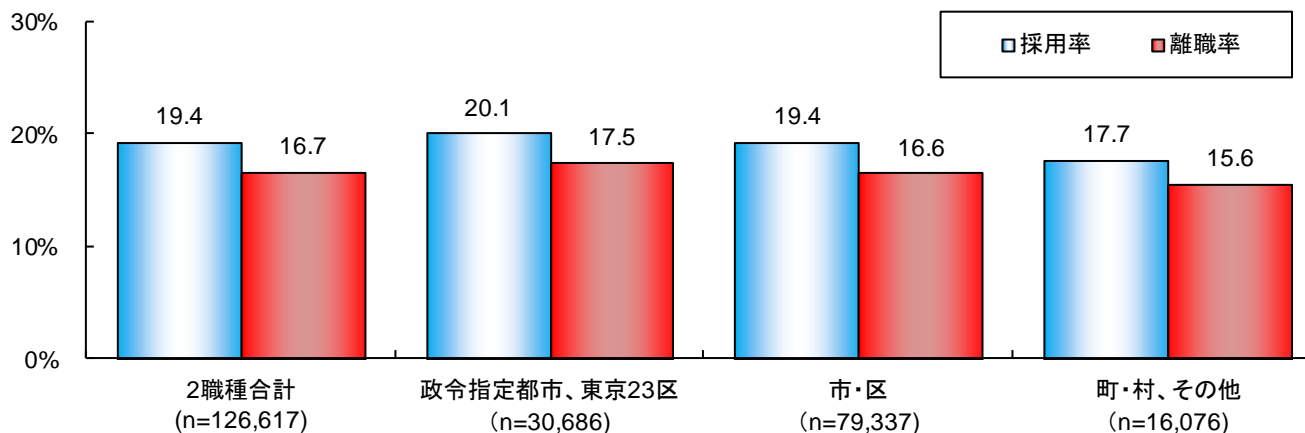
(1) 1年間の採用率・離職率

介護職員(非正規職員)の採用率、離職率が高い



(2) 事業所の所在地(市区町村)別

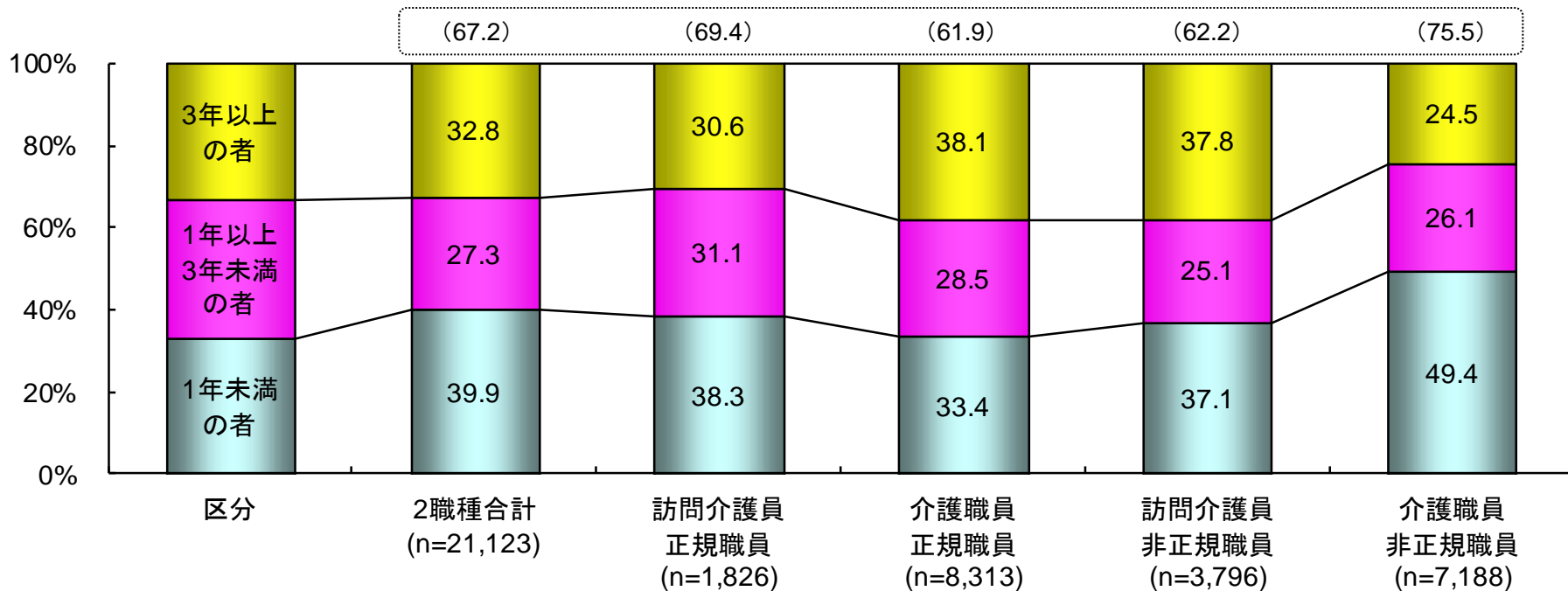
政令指定都市等で採用率、離職率が高い



(3) 離職者の勤務年数(職種・就業形態別)

離職者の67.2%が勤務年数3年未満

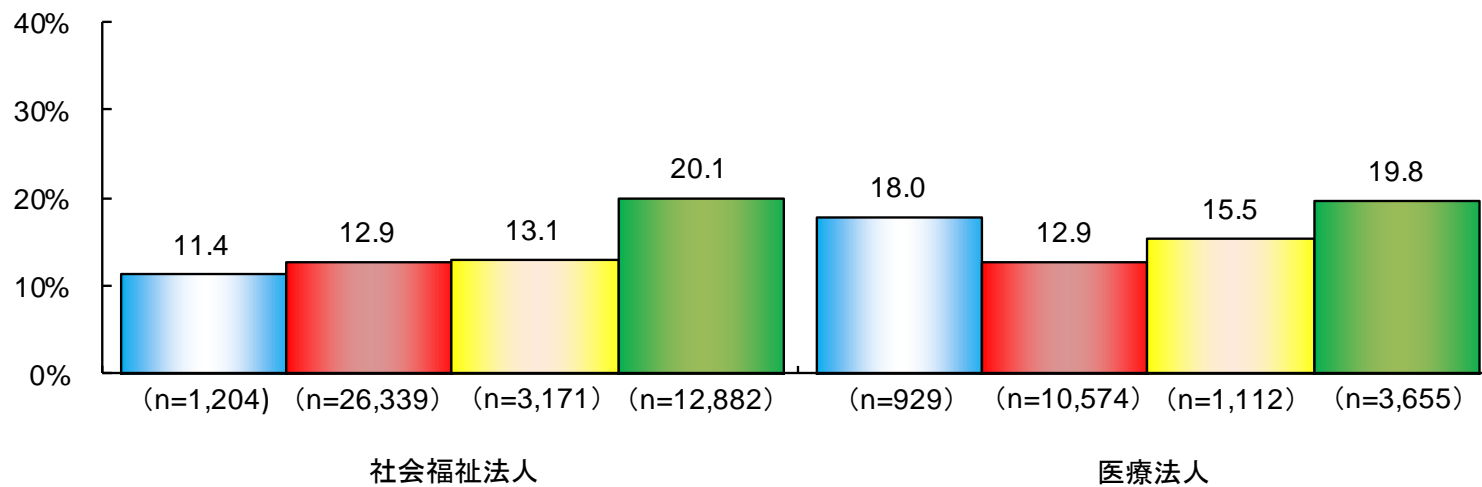
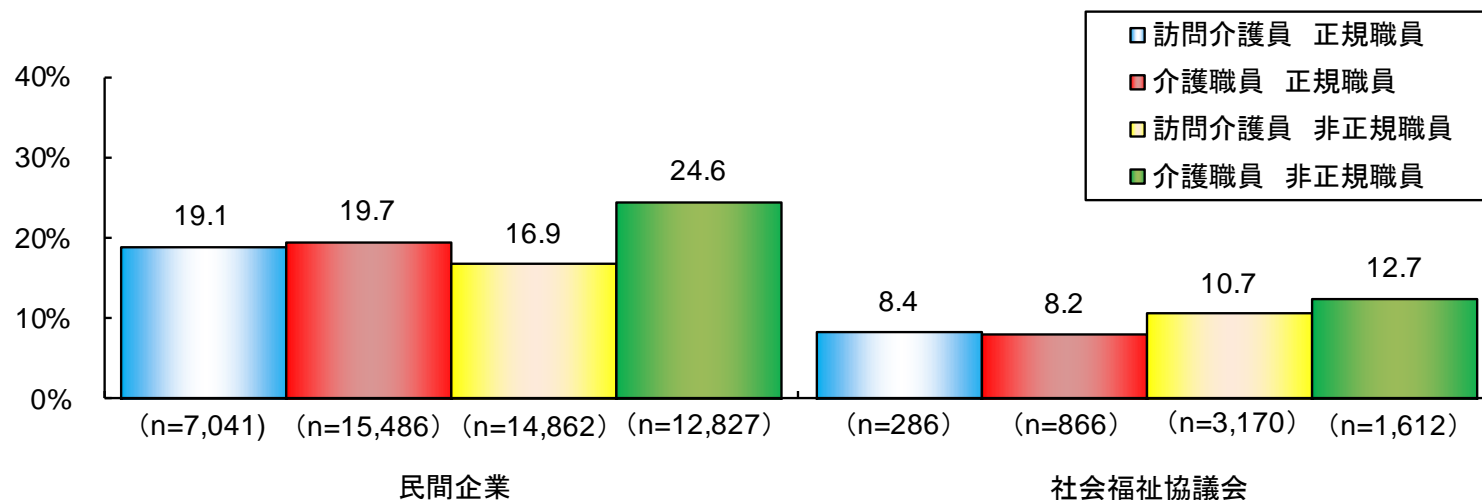
1年間の離職者のうち、「1年未満の者」と「1年以上3年未満の者」の合計割合。



(4) 職種・就業形態別離職率(事業所状況別)

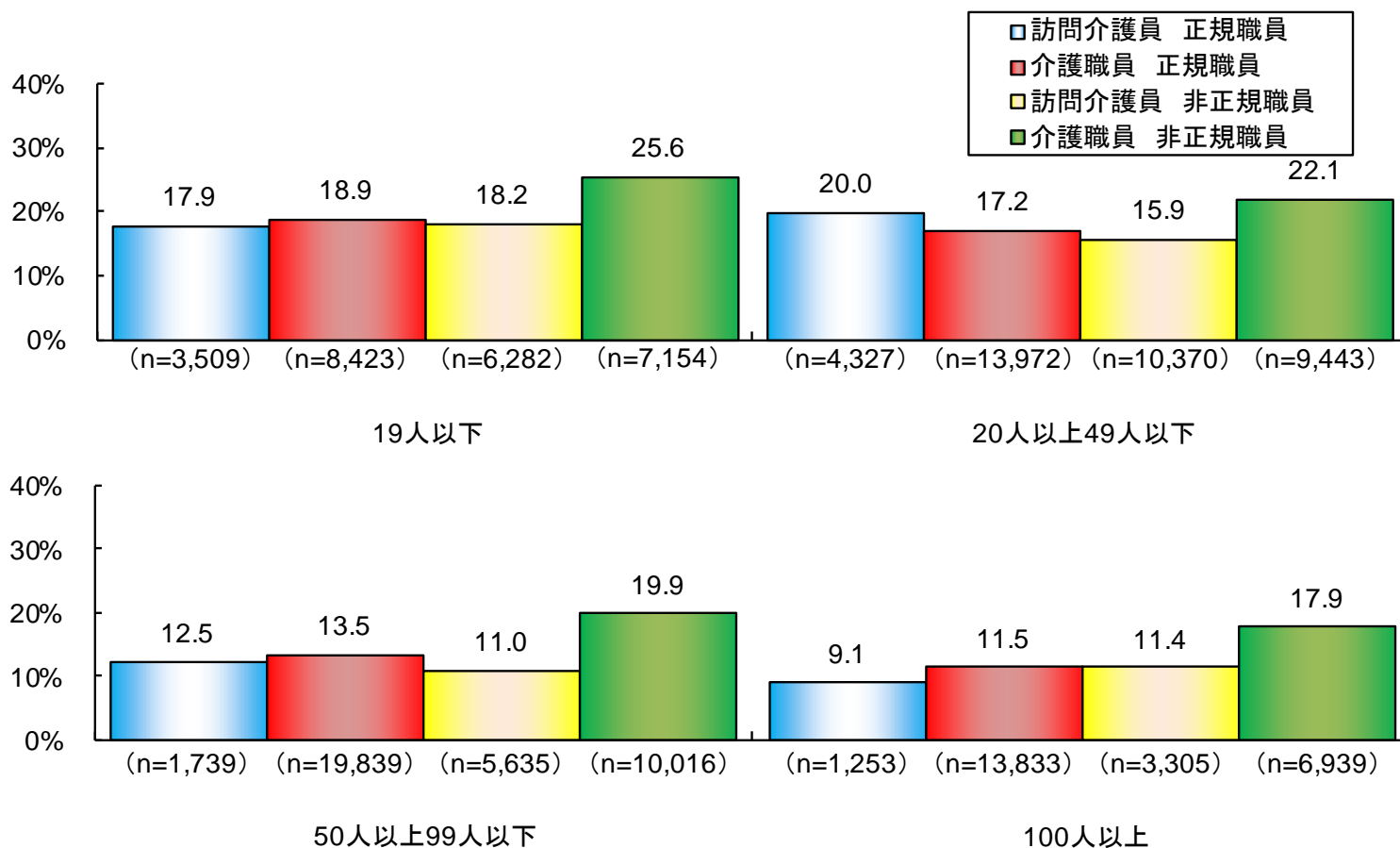
① 法人格別離職率

民間企業の離職率が高い



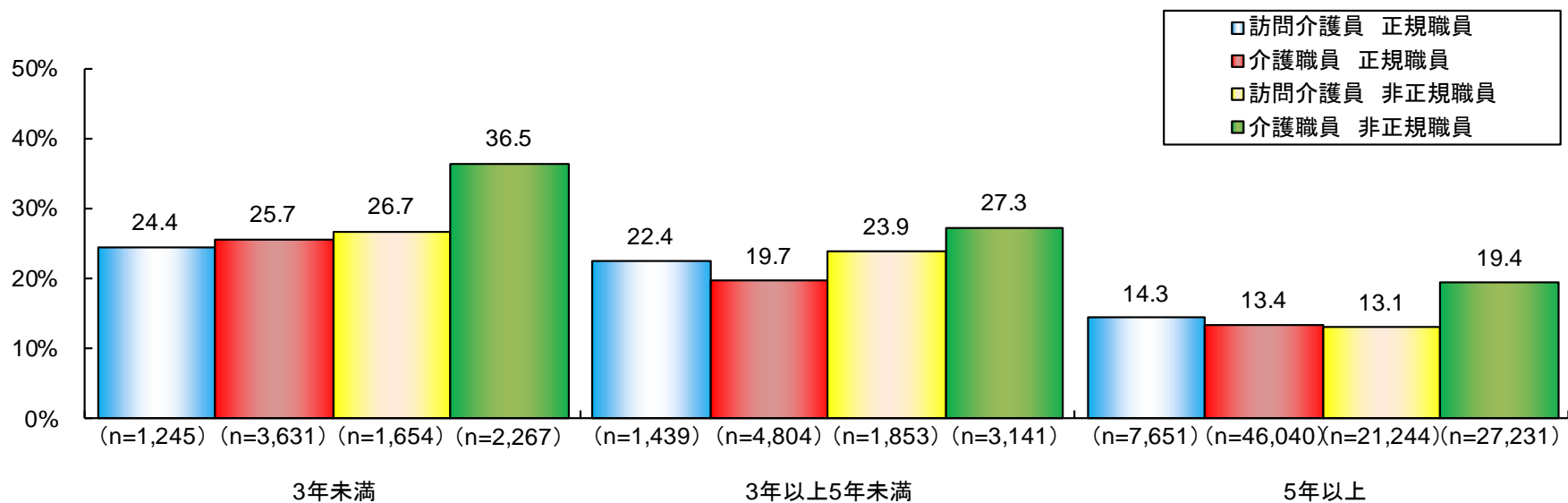
② 事業所規模別離職率

訪問介護員(正規職員)では、20人以上49人以下の離職率が高い。
それ以外では、19人以下の離職率が高い



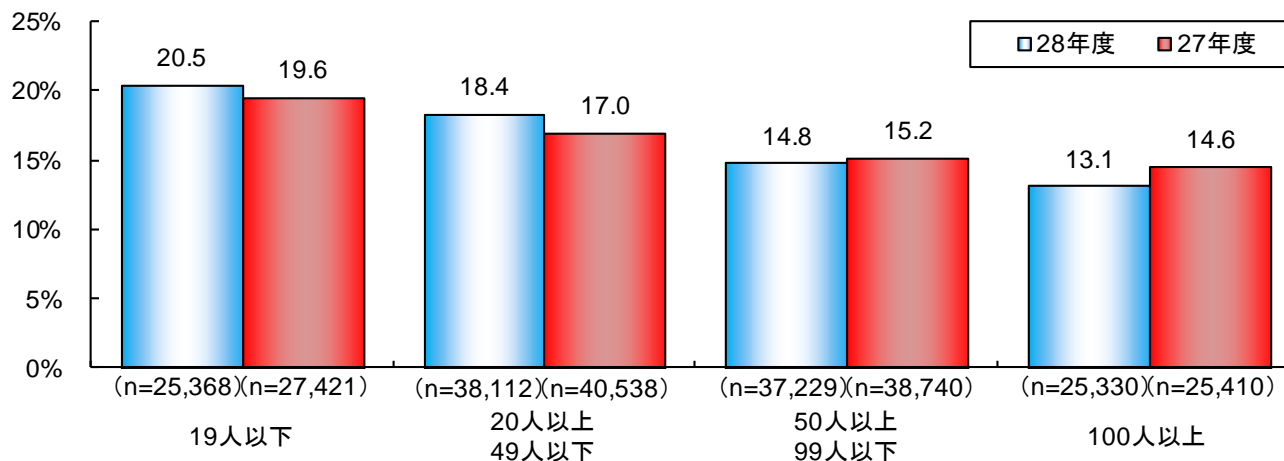
③ 介護事業開始後経過年別離職率

年数が経過するほど離職率が低くなる

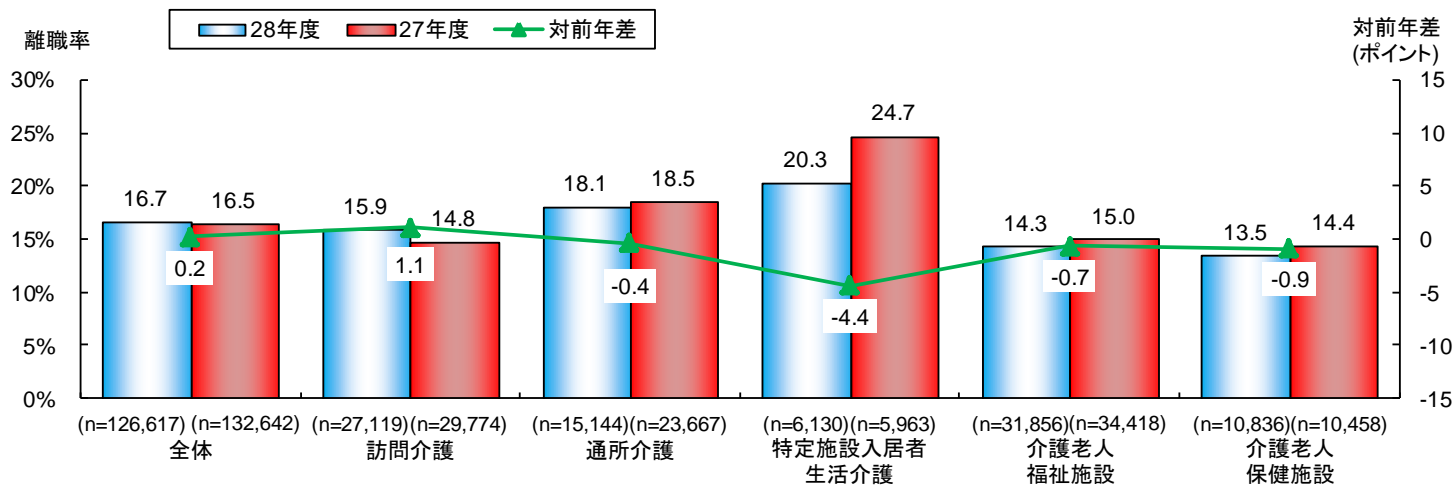


(5) 離職率の前年対比較

① 事業所規模別 離職率比較 49人以下では、前年度よりも離職率が上昇した

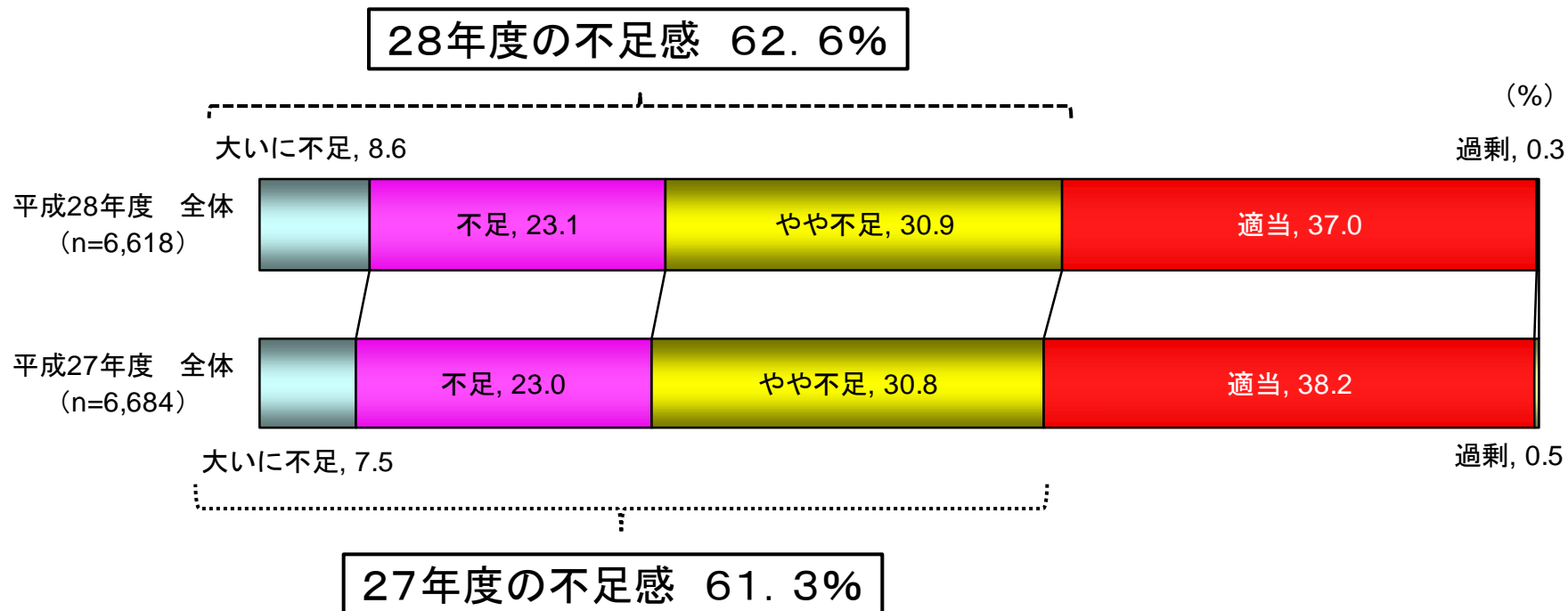


② 介護サービス別 離職率比較 訪問介護は離職率が1.1ポイント上昇した



2 従業員の過不足状況

前年度と比較して 不足感は1.3ポイント増加

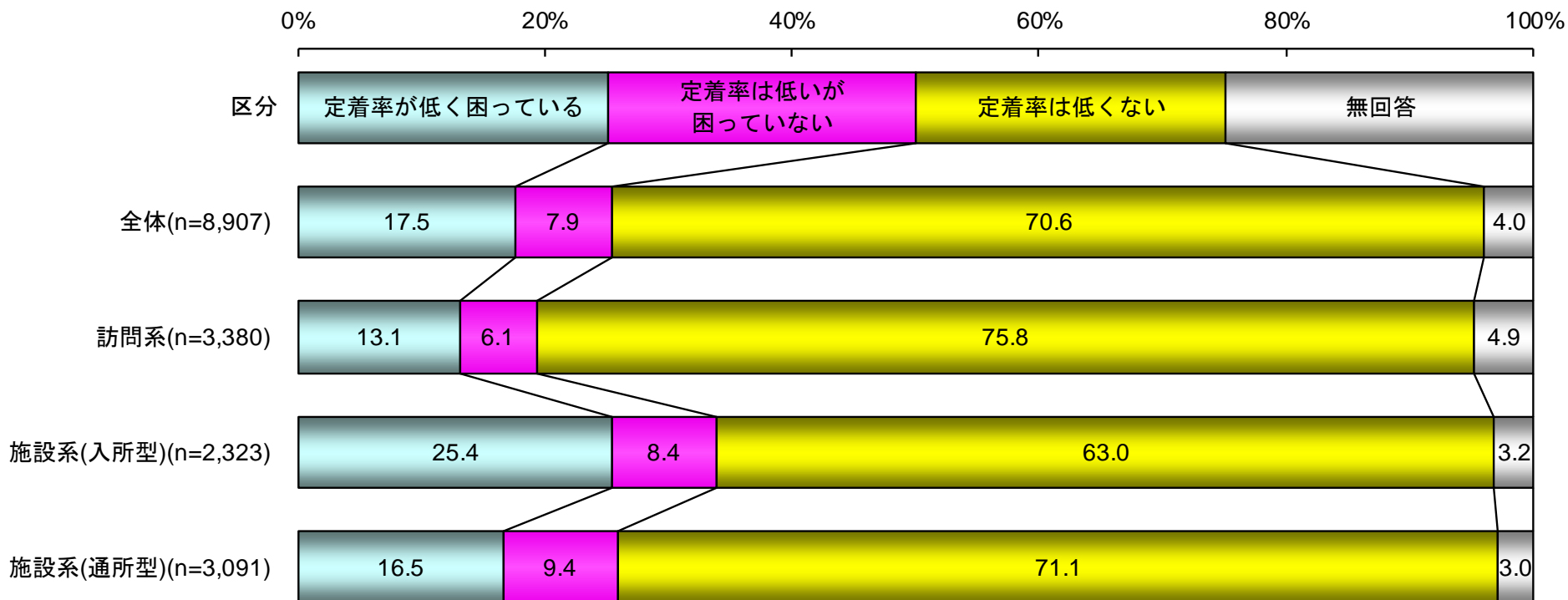


(注)「不足感」は「大いに不足」「不足」「やや不足」の合計。

3 従業員の定着状況

(1) 定着率について(回答者の認識)

70.6%が「定着率は低くない」との認識



(2) 定着率状況別の離職率

「定着率が低く困っている」事業所と
「定着率は低くない」事業所との離職率の差は11.4ポイント

(各棒グラフ上の数値が離職率(%))

